

ぱるす PULSE

Vol.18



詳しくは最後のページに・・・

CONTENTS

♥ 愛心メモリアル病院

- ①手術件数のお話
- ②教えて! 薬剤師さん
第2回目 お薬手帳
- ③ぱるすちゃんの投書箱
たたみの間がほしい

♥ 介護老人保健施設プラットホーム 改革! プラットホーム

♥ 来夢ライン

困った時はお互いさま。 最後はやっぱり「チームワーク」

♥ ステーションあいしん

私達は、こんなサービスを提供しています

♥ 愛心循環器クリニック

いびきが大きい方は要注意! パート3 完結編

♥ インフォメーション

テレビに出ました。 ちょっと前には新聞にも。

♥ 明治143年の生活

夏目漱石と胃潰瘍



医療法人社団愛心館

愛心メモリアル病院 · 愛心循環器クリニック · 愛心内科・消化器科クリニック

訪問看護
介護支援 ステーションあいしん · 介護老人保健施設プラットホーム · 来夢ライン 訪問看護ステーション
療養通所介護事業所

手術件数のお話



手術件数

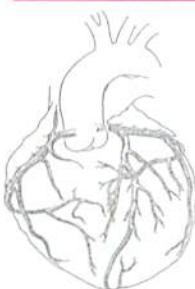
(2009年1月～12月)

■ ベースメーカー移植術 およびベースメーカー交換術(電池交換含む)	54件
■ 冠動脈、大動脈バイパス術 および体外循環を要する手術	73件
■ 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓切除術 および経皮的冠動脈ステント留置術	170件
以下の手術は実施件数:0件	
■ 胸蓋内腫瘍摘出術等	■ 子宮附属器悪性腫瘍手術等
■ 脾摘出手術等	■ 上頸骨形成術等
■ 肝葉形成手術等	■ 上頸骨悪性腫瘍手術等
■ 腺房形成手術等	■ バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)
■ 経皮的カテーテル心筋焼灼術	■ 母指化手術等
■ 経皮的冠動脈形成手術等	■ 内反足手術等
■ 外膜移植術等	■ 食道切開再建術等
■ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	■ 同様死体腎移植術等
■ 保道形成手術等	■ 人工関節置換術
■ 角膜移植術	■ 乳児外科施設基準対象手術
■ 肝切除術等	



愛心メモリアル病院

経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓摘除術および経皮的冠動脈ステント留置術 170件



冠動脈とは？？
左図が冠動脈のイメージです。心臓自体に栄養や酸素を供給している動脈です。

経皮的冠動脈形成術(ステント留置術)についてご説明します。まずは、足の付け根や腕の血管から、カテーテルという細く長い管を、狭くなっている又は詰まっている冠動脈のところまで、医師が操作して進めます。管の先端には風船がついています。目的の場所にきたら、膨らまして血管を押し広げる手術です。ステント留置術とは、その字の通り、ステントという特殊な筒状のモノを目的の場所で広げて、そのまま留置してくる手術になります。

局所麻酔で実施する手術です。通常、手術して2日後に退院となります。

冠動脈、大動脈バイパス術および体外循環を要する手術 73件



上記の手術の中で特に件数の多い冠動脈バイパス術についてご説明します。冠動脈バイパス術とは、左図をご覧下さい。大動脈(心臓の上にある太い動脈のこと)から足の静脈や動脈を使用して、狭くなったり閉塞している部分より先に血管をつなぐ手術です。左図の場合は、青色が足の静脈を使用、赤色が内胸動脈を使用したバイパスです。内胸動脈は一番長持ちする動脈です。手術は、全身麻酔で実施します。

直接自宅に戻っても元気に生活できるレベルを目指して、入院中は心臓リハビリを行っております。そのため、手術してから退院までの日数は、おおよそ2週間前後となっております。

愛心メモリアル病院では、ほぼ毎日何かしらの手術を実施しております。これからも、心臓血管外科を専門とする病院として地域医療に貢献してまいります。

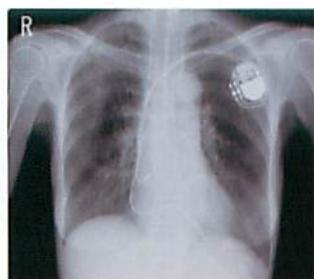
愛心メモリアル病院は、心臓血管外科を専門とする外科の病院ですので、今回は、この3種類の手術について、皆様にご説明したいと思います。

ベースメーカー移植術 およびベースメーカー交換術(電池交換含む) 54件

通常、心臓は1分間に60～80回ほど拍動します。ところが、何かしらの病気によって、心臓の拍動が少なくなる人がいます。そうすると、頭に十分な血液を供給することができなくなり、意識を失ったりします。

そこで、心臓が休んでいる時間が長くなった場合、心臓に電気刺激を与えて、心臓を動かす機械をベースメーカーといいます。ベースメーカー移植術とは、その機械を身体に植え込む手術を示します。

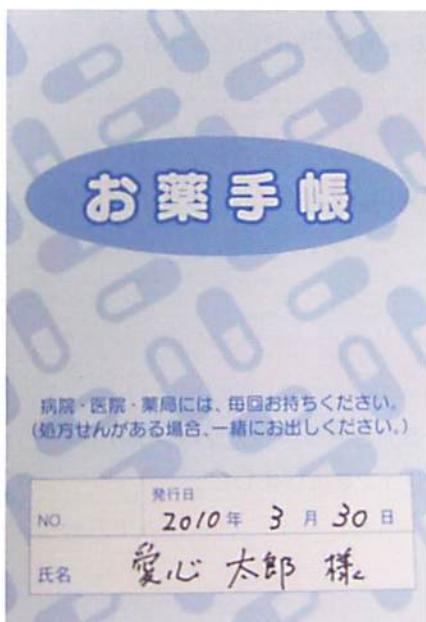
「機械を植え込む」と聞くと、とっても大きな手術のように感じますが、局所麻酔で実施します。通常、手術して7日後に退院となります。



左の写真は、ベースメーカー移植術をした患者様の胸部レントゲン写真です。

また、ベースメーカー交換術(電池交換を含む)とは、ベースメーカーの電池の残量が少なくなった時に、機械から心臓に伸びている電気の線はそのままにして、機械のみを交換することをいいます。電池の寿命は個人差がありますが、おおよそ7年ぐらいです。

第2回目 お薬手帳



Q1: お薬手帳はどうやって使うのですか？

A: お薬をもらう際、(調剤)薬局にお出しください。お薬と一緒に手帳に薬の内容を記載して返却されます。また、手帳には薬の副作用歴や、アレルギー歴なども記載することができます。

Q2: 手帳はどうして必要なのですか？

A: 他の病院からの薬が処方されている場合、薬同士の飲み合わせや、同効薬の重複投与などのチェックが

薬剤師により行われ、副作用を防ぐことができます。また、薬の副作用歴もチェックされます。

Q3: どこでもらえるのですか？

A: 調剤薬局、病院(配付していない病院もある)でもらえます。愛心メモリアル病院の窓口でも無料でお渡ししております。

Q4: 複数の病院にかかっている場合、病院ごとに1冊ずつもったほうがいいのですか？

A: 複数冊所持していると、異なる病院から処方された薬との飲み合わせや、重複などのチェックがされなくなります。お薬手帳は1冊だけにまとめましょう。

Q5: 前回と同じお薬が処方されたら、手帳に記載してもらわなくてもいいのですか？

A: 処方内容の記載の日付が古いと、すでに服用していない薬と判断されてしまう場合があります。薬の内容に変更がなくても、最新の日付があるものを記載してもらうようにして下さい。

お薬に関する質問、疑問点等がありましたら、お気軽に薬剤師にご相談下さい。



ぱるすちゃんの投書箱

今回の投書

今回の投書は、「待合室にたたみの間があれば助かります」という内容です。



回答

ご要望ありがとうございます。たたみの間があると横になれたり、足を伸ばして休めたりと診察を待っている間も少しだけくつろぐことができます。たたみの香りもマッチしてリラックスできるスペースになると思われます。

しかしながら、残念なことに、現在の待合室の面積はそれほど広くなく、人間や車椅子等の通行を考慮すると、「たたみの間」を十分に生かせるスペースが確保できない状況です。

いろいろ検討しましたが、ご要望には応えることが難しいのが本音でございます。病院の改装や建て直し等があった場合には実現したいと思っておりますので、今後とも当院を宜しくお願い申し上げます。

愛心メモリアル病院

Tel.011-752-3535 Fax.011-752-1058
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15

改革！プラットホーム

プラットホームでは2010年を改革元年と位置づけ、新たなスタートを切り始めました。現在は、通所サービス部門の改革に取り掛かっております。テーマは「**楽しみ度 UP、リハビリもUP**」今回はその一例をご紹介いたします。

① 土曜営業の開始

かねてよりご要望の強かった土曜日の営業を、3月から開始いたしました。現在のご利用は7名ですが、今後の利用増を期待しております!!

② 娯楽的要素の充実

プラットホームの趣味活動は「リハビリ的要素を意識しすぎる。あまりに真面目すぎる」と言う声もチラホラ聞かれておりました。改革にあたっては娯楽的要素の強い活動も取り入れ、趣味活動のバリエーションを広げました。

①マージャン：従来より準備しておりましたが、待望の全自動麻雀卓を導入！

毎日、熱い戦いが繰り広げられております。

②パチンコ、パチスロ：娯楽機器として新登場！

お金はかかりませんが、勝っても何も出ません・・・アシカラズ

③カラオケ設備：こちらも新登場、

プラットホーム内の喫茶店は毎日13時30分からカラオケ喫茶に変身しております。♪♪



③ クラブ活動の開始

講座名	頻度	曜日
籐工芸	毎週	月
陶芸	毎週	火
アロマテラピー	毎週	水
書道	毎週	木
木工	毎週	金
フラワーアレンジメント	月4回	月・火・金
メイクアップセラピー	3ヶ月に1回	月
ブリザーブドフラワー	月1回	水
ステンシル	月1回	木
トールペイント	月1回	金

従来より趣味活動の時間には講師の先生を招いての講座を開催していましたが、各講座は月に1~2回程度の開催だったため、定員の関係でご迷惑をお掛けすることもございました。

4月からは講座の種類や回数を増やし、毎日何らかの講座が開催できる体制を整えております。また作品の完成までに数回の受講が必要なものも準備いたしました。じっくりと時間をかけて製作に取り掛かりたい方にもご満足いただけるかと思います。

これからも「**楽しく!**」なおかつ、「**リハビリテーションもしっかり!!**」をテーマに取り組んでいきますので、ご期待下さい。

介護老人保健施設プラットホーム

Tel.011-776-3037 Fax.011-776-3039
〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

困った時はお互いさま。最後はやっぱり「チームワーク」



森所長（後列の右から2番目）とスタッフの皆さん

自立するために働きたい。退職したが、第2ステージとして働きたいなどです。

以上のような二つのニーズにどのように対応をしていくべきか。結論としては、当たり前のことが、雇用側が求めている「働き方」と個人の事情にあった「働き方」をすりあわせながら、画一的な働き方でなく、勤務時間、日数、雇用保険、福利厚生をお互いに話し合いながら、「一人で頑張らず、複数で支えあう体制を作っていくべきではないか」そう判断しました。

私自身、仕事を継続してきた者として、家庭生活とのバランスをとりながらも自らの能力を発揮しながら働き続けることの価値を実感しております。そのため、働きたいのに働きにいけないという問題を抱えている人に各人の事情にあった働き方を導入し、個人のライフワークバランスをぜひとも維持してもらいたいと考えています。

結局、個人の多様な働き方を確保しつつも、企業としてめざす方向を一致させ、働く仲間としてのより良いチームワークを作ることが何よりも大切。そう!! 最後はやっぱり「チームワーク」なのだと思います。

これからも、スタッフとのコミュニケーションを密にとり、もっともっといいチームワークを作っていくたいと思っています。私が大切にしていることは以上です。働く意欲のある皆さん！来夢ラインの仲間になりませんか？（所長 森 明恵）

働いているスタッフに突撃インタビュー

森所長の方針、大切にしていることはわかりました。でも、実際はどうなのでしょうか。ちょっと意地悪ですが、森所長がいない時に、実際に働いているスタッフにインタビューしてみました。

2歳、4歳の小さなお子さんがいて、週4回、8時30分～17時30分まで勤務している能久（ノク）さんへのインタビューです。

Q1：翌月に、どうしても休みたい日があった場合に、希望どおり取得できていますか。

A1：まずはスタッフの間で休みの日程調整をしていますし、できています。それを、翌月の勤務希望表に記載しています。最終的には森所長が判断していますが、ほぼ100%取得できています。

Q2：子供が熱を出したりといった急な休みに対してはどうでしょうか。

A2：私の場合、実家が近いのまず実家に相談します。駄目な場合は、やっぱり職場に連絡しますが、森所長は対応してくれています。なんといっても、職場全体が、子育てを応援してくれる雰囲気があるのがうれしいです。森所長が応援、理解してくれているので、そのオーラが職場を包みこんでいるのだと思います。たいへんありがとうございます。

他のスタッフの思いはどうでしょうか。一番下の子が17歳という伊藤さんに聞いてみると、「困った時はお互いさま」小さい子がいる人をフォローするのが、今の私の役割だと思っています。非番の時に、森所長から急なお願いがきたりしますが、協力しています。頻度が少ないのであまり覚えていないのですが、2009年の1年間では、そうしたことが4～5回くらいあったとのこと。

働いて6ヶ月間の須見さんに、森所長とのコミュニケーションは取れていますかと聞いたところ、「会話のキャッチボールは抜群です。すぐにパパッと。対応は早いです」と。「抜群」という言葉に私はしびれました。

インタビューにご協力していただいたスタッフの皆様、ありがとうございました。インタビューして感じたことは、森所長に何かしらの調整が行く前に、スタッフの間でうまい具合に調整が取れてしまっているということです。

これこそが、森所長のいう「チームワーク」ではないかと思いました。

皆様の温かい支えによって、来夢ラインは開設して丸3年が経過しました。開設時、5名だった職員が、現在は、11名という人数にまで増えました。看護や介護に関しては、人手不足と言われる中、働くスタッフにとって、魅力ある職場とは何かを考え、実行してきたことが良かったのではないかと思っています。

今回、私自身がスタッフの働く環境に対して、何を大切にしてきたのかをまとめることによって、来夢ラインが何を大切にしているのかを皆様にお伝えできればいいなと思います。

まず、過去の経験から、働くスタッフには大きく二つのニーズがあることがわかりました。一つ目は、あいの里という土地柄なのでしょうか。応募する人は近隣の人人がほとんどで、自宅から近いから働きたいというニーズです。

二つ目は、働くにあたって、スタッフ側にはそれぞれに事情があるということです。例えば、子育て期なので、家庭とのバランスをとりながら働きたい。給料は、配偶者としての扶養をこえないようにしたい。自らが大黒柱なので経済的に

自立するために働きたい。退職したが、第2ステージとして働きたいなどです。

以上のような二つのニーズにどのように対応をしていくべきか。結論としては、当たり前のことが、雇用側が求めている「働き方」と個人の事情にあった「働き方」をすりあわせながら、画一的な働き方でなく、勤務時間、日数、雇用保険、福利厚生をお互いに話し合いながら、「一人で頑張らず、複数で支えあう体制を作っていくべきではないか」そう判断しました。

私自身、仕事を継続してきた者として、家庭生活とのバランスをとりながらも自らの能力を発揮しながら働き続けることの価値を実感しております。そのため、働きたいのに働きにいけないという問題を抱えている人に各人の事情にあった働き方を導入し、個人のライフワークバランスをぜひとも維持してもらいたいと考えています。

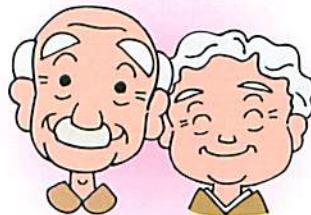
結局、個人の多様な働き方を確保しつつも、企業としてめざす方向を一致させ、働く仲間としてのより良いチームワークを作ることが何よりも大切。そう!! 最後はやっぱり「チームワーク」なのだと思います。

これからも、スタッフとのコミュニケーションを密にとり、もっともっといいチームワークを作っていくたいと思っています。私が大切にしていることは以上です。働く意欲のある皆さん！来夢ラインの仲間になりませんか？（所長 森 明恵）

らい む
来夢ライン 療養通所介護事業所 Tel. 011-776-3555
Fax. 011-776-3072
訪問看護ステーション Tel. 011-776-3071
Fax. 011-776-3072
〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

私達は、こんなサービスを提供しています

体調管理や介護について何か困っていることはありませんか。例えば、最近、なんとなく体調管理に自信がない。1人でリハビリができない。お薬がきちんと飲めない。自宅で、傷の手当や尿カテーテル管理などができるか心配。退院して病気とうまく付き合っていけるだろうかという不安。家族が退院してくるけれど、私だけで対応していけるだろうかという介護者の戸惑い等々。この気持ち、この思いをどうしたらいいのだろうか。そんな時には、ぜひとも当ステーションにご相談下さい。今回は、私達が提供しているサービスを、ご説明させていただきます。



(左から3番目が所長の伊藤)

ステーションあいしん

訪問看護サービス

- ・病状観察や異常の早期発見と対応
- ・日常生活の援助や介護の相談・お手伝い
- ・お薬の管理のお手伝い
- ・リハビリテーション
- ・カテーテルや在宅医療機器などの管理のお手伝い
- ・傷の手当や点滴などの処置
- ・認知症のケア
- ・在宅死を望む方のお手伝い
- ・関係機関との連絡調整
(かかりつけ医、ケアマネージャーなど)

内容

居宅介護支援サービス

- ・介護保険の申請、更新手続き
- ・心身の状態やご本人の希望に基づいて、サービス計画を作成
- ・サービスの調整(訪問介護、通所介護、通所リハビリ、訪問看護、福祉用具レンタル・購入、訪問入浴等)

毎月1回はご自宅に伺い、サービスの利用状況、心身の状態を確認させていただきます。

特徴

- 1、どこの医療機関に通院されていてもご利用できます。
- 2、昭和61年愛心メモリアル病院開院以来の訪問看護実績があります。(平成11年に病院の訪問看護室から訪問看護ステーションとして独立しました)
- 3、受け持ち看護師が責任をもって、ご利用者様に合った看護を提供します。主治医、ケアマネージャー等と密に連携をとりながら関わらせていただいております。
- 4、24時間、緊急時対応いたします。
- 5、フットケアの資格を持った職員が多数おります。(フットケアは足のむくみ、冷感がある方にはとても有効です)
- 6、精神保健福祉士の資格を持った職員が1名あります。

内容

特徴

- 1、全職員(5名)が看護師とケアマネージャーの資格があり、兼務して対応しております。身体状態にあわせた、サービス計画の提案ができます。
- 2、福祉住環境コーディネーターの資格取得者がおります。
- 3、24時間連絡対応しております。

循環器の病気だけでなく、いろいろな病気、障害をお持ちの方と関わらせていただいております。

最近では、ご自宅で最後のときを迎える方と関わることが増えております。住み慣れた家で、家族に見守られながら、安心して過ごせるようにお手伝いをしております。

訪問する頻度は、ご利用者様の状態やサービス内容を基に、ご利用者様、ご家族様、主治医、ケアマネージャーとともに、相談して決めさせていただいております。

ご連絡をお待ちしております。(所長 伊藤 亜美)

訪問看護 介護支援 ステーションあいしん

Tel. 011-752-3540 Fax. 011-748-8771
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-14
加藤ビル3階

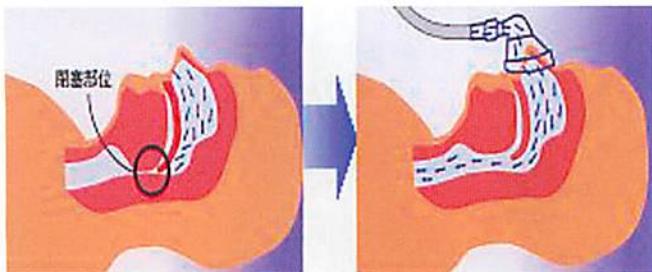
いびきが大きい方は要注意！パート3～完結編～

みなさん、こんにちは。

JRタワー8階にあります、愛心循環器クリニックと愛心内科・消化器科クリニックです。今回も、『睡眠時無呼吸症候群(Sleep-Apnea-Syndrome=通称SAS)』についてのお話です。前回は、**SASの方が何もせずにこうっておくと、8~9年の間に10人のうち4人が、亡くなってしまう**という少々恐ろしい実情についてお話しさせて頂きました。では、防ぐための予防策はないのか…ということで、現在行われている治療方法についてお話しさせて頂きます。

大きく分けて、①生活習慣の改善 ②内科的治療 ③外科的治療 ④歯科装具 の4つがあります。それでは、大まかに説明していきましょう。

まずは、「生活習慣の改善」です。一般的にSASの患者様は肥満を伴っているケースが多いという報告があります。余分な脂肪が口腔内を狭めてしまうからです。つまり、減量することでSASが改善することが考えられるわけです。また、喫煙は血中の酸素濃度を低下させ咽喉頭部の炎症を起こすこと、過度の飲酒も上気道の筋力を低下させるため、控えたほうが良いということも言われています。寝る際の体位も、横向きにした方が良いようです。ちょっとした心がけで改善することもあるのですね。

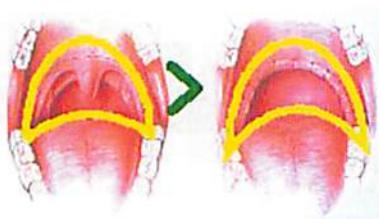


次に、世間一般でもまだ当院でも第一選択として患者様にお話しするのが、内科的治療であるCPAP療法です。左図をご覧下さい。マスクを介して気道内に陽圧(大気より高い圧)をかけて、気道の閉塞を防ぐことにより、SASを治療する療法です。当院では、現在、約40人前後の患者様がこの治療を行っています。

ただ、こちらは、眼鏡と同じで目の悪い方が眼鏡をはずすと見えにくくなるように、CPAPもはずすと元通りの状態、つまりSASの状態に戻ってしまいます。

対症療法と言って、根本的な治療ではないために、基本的にはずっと使用していく形になります。左が実際に使用している時の写真です。

「安眠のためにはかかせなくなった」、「出張、旅行でも持つていいってよ」という声を頂いています。当院で使用しているCPAPは現在使用している機器の中では、世界最小・最軽量・最小作動音のものを使用しています。また、海外でも対応可能な電源を使用していますので、海外旅行でも持参可能です。(北米・ヨーロッパは対応可能)



3番目の外科的治療についてご説明します。UPPP(口蓋垂軟口蓋咽頭形成術)や扁桃除去といって、いわゆる「のどちんこ」の周囲を切り取って、口腔内を広くして狭くなるのを防ごうというものです。やはり、手術になりますので、侵襲が大きくなります。現状7割程度の成功率と言われています。



最後に、歯科装具についてのお話しです。主に軽度の患者様に用いられる治療選択の一つで、患者様ごとにマウスピースを作製して、上下の歯の間に固定し、下あごを前方に引き出すことによって咽頭を広くする方法です。こちらの方法では、顎関節の痛みや唾液の分泌が多くなるなどの報告が見られるようです。

まずは、知る事が大切です。「いびきがとても大きい」、「いくら眠っても眠り足りない」などの気になる症状がありましたら、当クリニックにご相談下さい。

なお、昨年より、愛心メモリアル病院でも検査・治療ができるようになりました。お気軽にご相談下さい。

愛心循環器クリニック

Tel. 011-209-5250 Fax. 011-209-5432

愛心内科・消化器科クリニック

Tel. 011-209-5265 Fax. 011-209-5427

〒060-8503 札幌市中央区北5条西2丁目
JRタワーオフィスプラザさっぽろ8階

インフォメーション

愛心メモリアル病院がテレビに出ました
ちょっと前には新聞にも

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、3月17日（土）の17時25分からHTBで放送された番組、「医TV」に当院が登場しました。

カメラマン等4名が取材に来たのは3月9日（火）でした。その取材しているところを取材しました。約1日がかりの取材で、編集された内容を見ると、さすがプロ。うまいなあ。先生方のいい表情を逃さずに捉えているのはさすがだなと強く思いました。

実は2010年1月10日の日本経済新聞に愛心メモリアル病院が掲載されました。日本医療機能評価機構という第三者的な外部評価機構で高評価だった病院としてです。外来待合室の中央付近にその記事のコピーが掲示されていますので、どうぞご覧下さい。

働いている職員として、とても誇りに思えることだと感じています。



心・大血管リハビリ教室



CTの画像処理中の風景



病棟にて撮影中



明治143年の生活～第5話～



るばす俱楽部

今年は平成22年ですが、明治が続いたら明治143年です。今の生活では当たり前のことであっても、ずっと昔からあたり前であったのかどうかを皆さんに問いかけるコーナーです。

夏目漱石と胃潰瘍

この頃、文学青年になったつもりで、太宰治や夏目漱石なんかの小説を読んだりしています。失礼。表現が不適切でした。文学中年が正解かもしれません。

さて、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません、明治の文豪夏目漱石は胃潰瘍に悩まされていました。今から約100年前の明治40年頃の話です。それで、少しばかり胃潰瘍の治療について調べてみました。以下はその概略です。

明治時代にはどうも胃潰瘍に効く薬はなかったようです。漱石が悩んでいた時期から約70年後の明治110年頃（1970年の中頃）に、H2ブロッカーという薬が開発され、その後、今度はプロトンポンプ阻害薬という薬が開発されました。

これらの薬の登場により、胃潰瘍は手術をしないで、飲み薬で治せる病気になったということです。夏目漱石の時代にそんな薬があったら、もしかしたら違った小説が生まれていたかもしれません。

薬で治せるようになった医学の進歩、薬学の進歩に感謝。そして、明治143年の生活に感謝します。

「地球温暖化」
クールな景気で対応中
—リストラ男（超極楽トンボ）

編集後記

だいぶ前の新聞に載っていた記事のことです。タバコを吸う組と吸わない組が知能テストをした結果、吸わない組の方が知能が高いという結果が出たという記事です。対象となったのはイスラエルのビカビカの1年生兵隊さん、約2万人ちょっとです。知能テストは数字として結果が出ますので、確かに統計処理すれば、そうした結論が出てくることになるのだろう。「そりなんだ」と思って読んでいたところ、最後にオチがありました。

知能テスト中は禁煙。禁煙による禁断症状がもしかしたら、テスト結果に影響があったのかもしれない。確かに「その可能性はあるな」と思いました。記事はそこで終わっていましたが、私としては、タバコが自由に吸える環境で、もう一度やってみてほしかったです。統計というか、数字のマジックには気をつけないといけないとあらためて思つたしだいです。（N）

医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15
TEL (011) 752-3535
FAX (011) 752-1058
E-mail info@aishinkan.jp
URL http://www.aishinkan.jp

発行／医療法人社団 愛心館

発行日／平成22年4月26日

編集／経営企画部 西村智嘉男、西川万里子

発行責任者／高橋 順一郎